エコアクション２１

環境経営レポート

2025年度

運用期間（2025年1月～2025年12月）

認証番号 0004789

２０２６　年　２　月　10　日　作成

葵　建　設　株　式　会　社

環 境 経 営 方 針

＜基本理念＞

　建設業は担い手不足により存続が厳しい状況にあります。それに相反して労働者が高齢化しているのが現実です。
　葵建設株式会社は、この様な現実を視野に入れて省人化及び人的資本の向上を図り、
企業力を高め、建設工事において、地球との調和を図り、持続可能な社会づくりを目指します。
　このため、環境に配慮した設計･施工などにより、地球温暖化をはじめとした環境問題に取り組むとともに、地域の環境活動にも自主的に取り組むなど、環境経営を進め、これを継続的に改善し、顧客の皆さんの安心に繋げます。

＜行動方針＞

　当社においては、環境に配慮した設計・施工をはじめとした省資源・省エネルギーの事業活動を進めることにより、環境負荷低減と効率向上を図ります。また、これを支える人材の育成や技術の向上に努めます。
　このため、下記の環境経営目標により活動を実施するとともに、この目標を定期的に見直し改善していきます。併せて、関連する環境関連法規等を順守します。

①　電力･燃料による二酸化炭素排出量の削減
②　水使用量の削減
③　廃棄物の削減及びリサイクルの推進
④　事務用紙使用量の削減
⑤　グリーン製品購入の推進
⑥　地域貢献活動への参加
⑦　環境に配慮した製品･サービスの提供及び施工
⑧　化学物質取扱時の外注業者への指導の徹底

　全従業員に、環境活動に対する理解を求めると共に、当社の方針として周知徹底し、
環境経営レポートで社外に公表します。

制定日： 2020年1月5日
改定日： 2024年1月5日

葵建設株式会社

代表取締役社長　　青木　晃

□組織の概要

（１）　名称及び代表者名
葵建設株式会社
代表取締役社長　青木　晃

（２）　所在地
〒774-0014　(本社)徳島県阿南市学原町松ノ久保2-4
〒774-0046　(倉庫)徳島県阿南市長生町おわた2-4
法人設立年月:1976年5月

（３）　環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者　環境管理責任者　:　青木　晃　TEL:(0884)22-8765
担当者　環境事務局　:　青木佐由理　TEL:(0884)22-8765

（４）　事業内容
建設業
・建設業許可（有効期限:R4.3.31～R9.3.30）
土木工事業、建築工事業、大工工事業、屋根工事業、タイル・れんが・ブロック工事業、
鋼構造物工事業、内装仕上工事業、解体工事業

（５）　事業の規模
売上高　204百万円/年
主要工事件数　21件

	本社	倉庫	現場
従業員	9名	―	―
延べ床面積	147.8㎡	730㎡	21箇所

（６）　事業年度　2025年1月～2025年12月

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名：　葵建設株式会社
対象事業所：　本社
倉庫
事業活動範囲：　建設業（土木工事業、建築工事業、大工工事業、屋根工事業、
タイル・れんが・ブロック工事業、鋼構造物工事業、内装仕上工事業、解体工事業）

□主な環境負荷の推移

全社

項　目	単位	2020年度（基準）	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
二酸化炭素総排出量	kg-CO_2	22,956	17,841	20,432	16,986	11,580
廃棄物排出量	kg					
一般廃棄物量排出	kg	269.6	91.4	91.4	76.6	79.4
産業廃棄物排出量	kg	2,100	69,880	5,460	12,150	17,350
総排水量	m^3	107.5	69	100	89	62
化学物質	kg	195	38	0	32	0

（注）電力の二酸化炭素排出係数：四国電力　0.411kg-CO2/ｋWh　2019年度実績（環境省・経済産業省公表）

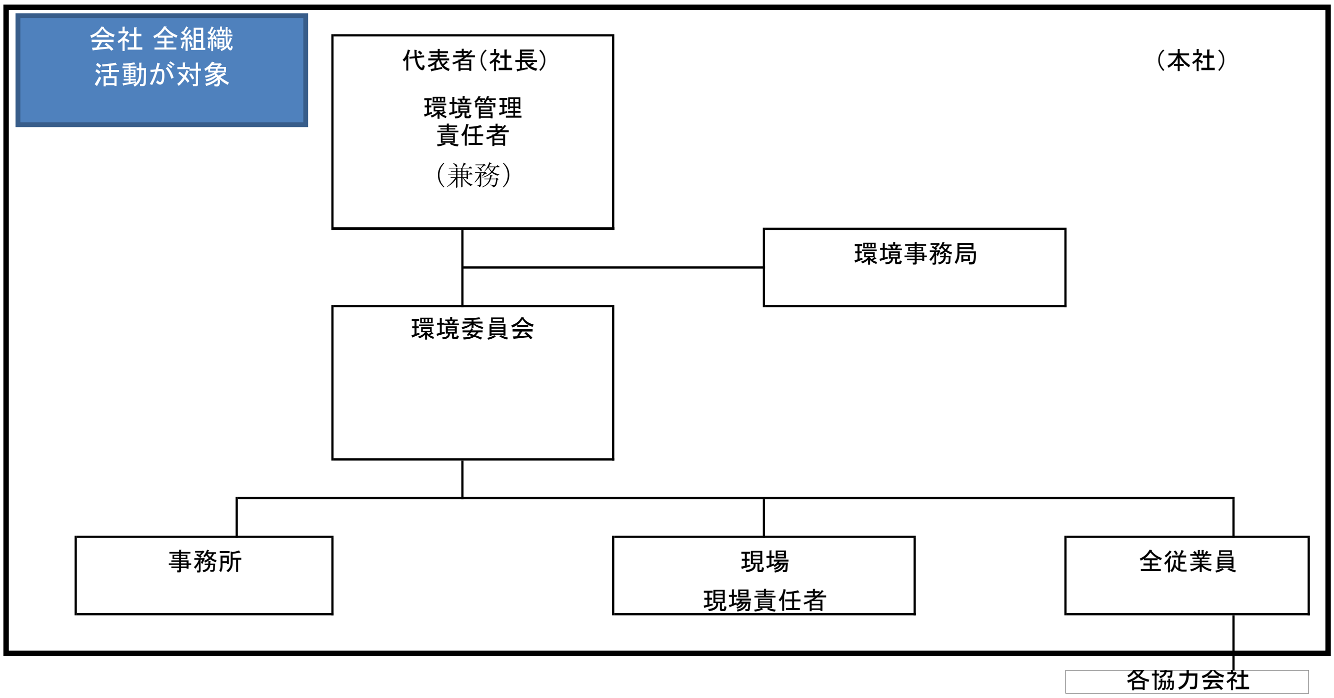
事務所

項　目	単位	2020年度(基準)	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
二酸化炭素総排出量	kg-CO_2	9,358	6,840	5,511	6,237	5,259
廃棄物排出量	kg					
一般廃棄物量排出	kg	231.3	56.9	68.7	65.3	50.7
産業廃棄物排出量	kg	0	0	0	0	0
総排水量	m^3	72.0	66.0	67.0	62.0	50.0
化学物質	kg					

現場

項　目	単位	2020年度(基準)	2022年度	2023年度	2025年度	2025年度
二酸化炭素総排出量	kg-CO_2	13,598	11,001	14,921	10,749	6,321
廃棄物排出量	kg					
一般廃棄物量排出	kg	38.3	34.5	22.7	11.3	28.7
産業廃棄物排出量	kg	2,100	69,880	5,460	12,150	17,350
総排水量	m^3	35.5	3.0	33.0	27.0	12.0
化学物質	kg	195.0	38.0	0	32	0
環境に配慮した施工		100%	100%	100%	100%	100%

葵建設株式会社　実施体制図及び役割･責任･権限表



	役割・責任・権限
代表者（社長）	･環境経営に関する統括責任 ･環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 ･環境経営管理責任者を任命 ･環境経営方針の策定･見直し及び全従業員へ周知 ･環境経営目標･環境経営計画書を承認 ･代表者による全体の評価と見直しを実施 ･環境経営レポートの承認 ･従業員に対する教育訓練（緊急事態を含む）の実施を指示 ･是正･予防処置の決定･指示 ･経営における課題とチャンスの明確化
環境管理責任者	･環境経営システムの構築、実施、管理 ･環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ･環境関連法規等とりまとめ表に基づく遵守評価の実施 ･環境経営目標･環境経営計画書を確認 ･環境経営活動の取組結果を代表者へ報告 ･環境経営レポートの確認
環境事務局	･環境経営管理責任者の補佐、環境委員会の事務局 ･環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ･環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ･環境経営活動の実績集計 ･環境関連法規等取りまとめ表の作成 ･環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ･環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ･環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
環境委員会 （平成22年1月5日設置）	･環境委員会(4人体制)を設置 ･法的要求事項に対する順守チェックを4人で行う ･目標未達成事項に対する是正処置の検討
現場責任者	･従業員に対する教育訓練（緊急事態を含む）の実施及び報告 ･現場での問題点の発見、是正、予防処置及び報告 ･環境経営方針、環境経営目標及び環境経営計画の周知、環境経営計画の実施 ･各協力会社への環境経営方針の徹底
全従業員 各協力会社	･環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ･決められたことを守り、自主的･積極的に環境活動へ参加

□環境経営目標とその実績・評価及び次年度の対応
（2025年度）

最新記入日:　2026 年 2 月 10 日
作　成　日:　2025 年 1 月 5 日
作成責任者:　青木 佐由理

上段・黒字…目標値
下段・赤字…実績値（達成）
下段・青字…実績値（未達成）

に着色した部分が目標

項　目	単位	基準値(A)（2020年度）		2022年度 基準値（A）の2%減		2023年度 基準値（A）の3%減		2025年度 基準値（A）の5%減		2026年度 基準値（A）の6%減		2027年度 基準値（A）の7%減		2028年度 基準値（A）の8%減	
年間工事高	(百万円)	254		128		125		204							
		事務所	現場	事務所	現場	事務所	現場	事務所	現場	事務所	現場	事務所	現場	事務所	現場
①電力使用量	(kWh)	15,162	6,938	14,858 11,291	6,799 2,257	14,708 9,945	6,729 2,785	14,403 8,344	6,591 5,113	14,253	6,522	14,101	6,452	13,949	6,383
達成率	(%) 達成状況	―	―	131% 達成	301% 達成	147% 達成	241% 達成	172% 達成	128% 達成						
②燃料	(ℓ)	1,052.5	4,062	1,031 915	3,980 4,070	1,020 600	3,940 5,705	999 780	3,859 1,720	989	3,819	979	3,778	968	3,737
達成率	(%) 達成状況	―	―	112% 達成	97% 未達成	170% 達成	69% 未達成	128% 達成	224% 達成						
二酸化炭素排出量	(kg-CO2)	8730	12,794	8,555 6,840	12,538 11,001	8,468 5,511	12,410 14,921	8,294 5,259	12,154 6,321	8,206	12,026	8,119	11,898	8,032	11,770
達成率	(%) 達成状況	―	―	125% 達成	113% 達成	153% 達成	83% 未達成	157% 達成	192% 達成						

※電力の二酸化炭素排出係数：四国電力0.411kg-CO2/kWh（2019年度実績【環境省・経済産業省公表】）
達成状況は、目標値：Aに対する実績値:Bの増減率を示す（以下同様）

環境経営目標・計画・達成状況
（担当）環境管理委員会（以下同様）

◎評価（結果）

電力は、事務所達成。現場達成。双方とも目標達成できた。
燃料(ガソリン・軽油)は、事務所達成。現場達成。双方とも目標達成できた。
二酸化炭素の排出量は、事務所達成。現場達成。双方とも目標達成できた。

◎次年度の対応

2026年度は2020年実績の6%削減を目標とする。
エアコンの適切な温度設定や不要な電気使用ストップなど各現場事務所での節電対策を周知徹底する。
アイドリングストップや、定期点検・車輌整備・エコドライブを徹底する。併せて、現場への乗り合わせ及び最短ルートの移動を徹底する。
工種にも依るが、現場事務所での下請にも周知徹底に努めていく。

項　目	単位	基準値(A)（2020年度）		2022年度 基準値（A）の2%減		2023年度 基準値（A）の3%減		2025年度 基準値（A）の5%減		2026年度 基準値（A）の6%減		2027年度 基準値（A）の7%減		2028年度 基準値（A）の8%減	
年間工事高	(百万円)	254		128		125		204							
		事務所	現場	事務所	現場	事務所	現場	事務所	現場	事務所	現場	事務所	現場	事務所	現場
③一般廃棄物	(kg)	231.3	38.3	227 56.9	37.5 34.5	224 68.7	37.1 22.7	220 50.7	36.3 28.7	218 217.0	36.0	215	35.6	213	35.0
達成率	(%) 達成状況	―	―	398% 達成	108% 達成	326% 達成	163% 達成	433% 達成	126% 達成						
④産業廃棄物	(kg)	―	(従来) 2,100 (見直し後) 8,680	―	2,058 69,880	―	2,037 5,460	―	8,506 17,350	―	8,419	―	8,333	―	8,246
達成率	(%) 達成状況	―	―		2.9% 未達成		37% 未達成		49% 未達成						
再資源化率	(%)	―							94.5%						

※産業廃棄物については、2024年度から、基準値を見直し、新たに目標設定し直した。従来の基準値が過去の実績の推移からすると特に低いため、特に高い2022年度も除き、2019年度、2021年度、2023年度の平均（8,680kg）を基準値とし、2024年度は1%減、2025年度は 2%減、2026年度は3%減とした。

◎評価（結果）

一般廃棄物は、事務所達成。現場達成。双方とも目標達成できた。産業廃棄物は、工種により増加となり目標達成できなかった。（体育館改修工事に伴うもので、再資源化出来ない廃プラが出た為。）

◎次年度の対応

2026年度は2020年実績の5%削減を目標とする。ただし、産業廃棄物は、上記のとおり。
一般廃棄物は、事業所・現場共、周知徹底を図る。データ管理できるものはデータで保存する。
産業廃棄物の削減は、受注工事内容によるが、なるべくダストを減らすよう工夫する。
マニフェストによる徹底管理を行う。建設資材廃棄物の再資源化に努力する。

項　目	単位	基準値（A） （2020年度）		2022年度 基準値（A）の2%減		2023年度 基準値（A）の3%減		2025年度 基準値（A）の5%減		2026年度 基準値（A）の6%減		2027年度 基準値（A）の7%減		2028年度 基準値（A）の8%減	
年間工事高	（百万円）	254		128		125		204							
		事務所	現場	事務所	現場	事務所	現場	事務所	現場	事務所	現場	事務所	現場	事務所	現場
⑤水使用量	（m3）	72.0	35.5	70.0 66	34.8 3	69.8 67	34.4 33	68.4 50	33.7 12	68.0	33.0	66.9	33.0	66.0	32.7
達成率	（%）	—	—	106%	1160%	104%	104%	136%	280%						
	達成状況			達成	達成	達成	達成	達成	達成						

◎評価（結果）

水使用量は、事務所達成。現場達成。双方共目標達成できた。

◎次年度の対応

2026年実績の6%削減を目標とする。

引き続き、節水に努める。

月により変化を見逃さず、水道使用量が多い時は、漏水検査をその都度行う。

項　目	単位	基準値（A） （2020年度）		2022年度 基準値（A）の2%減		2023年度 基準値（A）の3%減		2025年度 基準値（A）の5%減		2026年度 基準値（A）の6%減		2027年度 基準値（A）の7%減		2028年度 基準値（A）の8%減	
年間工事高	（百万円）	254		128		125		204							
		事業所	現場	事業所	現場	事業所	現場	事業所	現場	事業所	現場	事業所	現場	事業所	現場
⑥事務用紙使用量	（枚）	8,642		8,469 3,758		8,383 6,346		8,210 8,098		8,124		8,037		7,951	
達成率	（%）	—	—	225%		132%		101%							
	達成状況			達成		達成		達成							
⑦グリーン製品購入（事務用品購入代当たりのグリーン製品購入代）	（%）	80%		80以上 40%		80以上 90%		80以上 100%		80以上		80以上		80以上	
達成状況				未達成		未達成		達成							
⑧地域貢献活動（3回以上）	（回）	—		3以上 8回		3以上 8回		3以上 8回		3以上		3以上		3以上	
達成状況				達成		達成		達成							
⑨環境に配慮した製品サービスの提供、施工	（%）	100%	—		100 100%		100 100%		100 100%	100		100		100	
達成状況					達成		達成		達成						
⑩化学物質取扱時の外注業者への指導徹底	（%）	100%	—		100 100%		100 100%		100 100%	100		100		100	
達成状況					達成		達成		達成						

◎評価（結果）

事務用紙使用量は、達成できた。なお、裏紙利用は徹底できている。

グリーン製品の購入は、100%と達成出来ており、次年度もグリーン製品を計画的に購入する。

地域貢献活動は、8回活動。充分達成出来た。

環境に配慮した製品・サービスの提供及び施工については、環境に配慮したフォースター（☆☆☆☆）製品を使用（該当する製品がある場合）するなどにより、達成出来た。顧客のニーズも踏まえながら、環境負荷の少ない商品を採用し施工することができた。

化学物質に関しては、自社による取り扱いがない為下請業者に依る取扱いの徹底を図った。

◎次年度の対応

2025年度に引き続き、2026年度も同様の取組を推進する。

□環境経営計画とその実績・評価（2025年度）

＜事務所、現場・倉庫＞

実施チェック　3月　6月　9月　12月

重点テーマ	具体的項目	活動場所 事務所	活動場所 現場（倉庫を含む）	責任者 担当者	スケジュール 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12	実施状況 3	6	9	12	年間	評価・指示
①電力使用量の削減	・エアコンの設定温度（夏28℃冬20℃）	○	○	社長	→	◎	◎	◎	◎	◎	不要照明・パソコンの電源断は徹底。エアコンフィルターは月1回掃除を行った。 コピー機については昨年に引き続き現状では更新の必要がなく、今後検討。 今後も同様の取組を行なう。
	・照明の数を減らす、不要時の消灯					◎	◎	◎	◎	◎	
	・照明機器、クーラー、窓の掃除					◎	◎	◎	◎	◎	
	・倉庫照明器具をLEDに変えて行く		○		→	◎	◎	◎	◎	◎	
	・クールビズ・ウォームビスの制服着用	○		環境委員会		◎	◎	◎	◎	◎	
	・パソコンの電源はスリープにする	○				◎	◎	◎	◎	◎	
	・コピー機を省エネ製品に入れ替え	○				—	—	—	—	—	
	（年間）									◎	
②燃料の削減	・アイドリンクストップ	○	○	社長		◎	◎	◎	◎	◎	今後とも、アイドリンクストップと自主点検・車輌整備を怠らないように努める。現場への最短ルートの移動を徹底する。
	・自主点検の励行	○	○		→	◎	◎	◎	◎	◎	
	・暖房時はACスイッチを切る	○	○	環境委員会		◎	◎	◎	◎	◎	
	（年間）									◎	
③一般廃棄物の削減	・裏紙利用の励行	○	○	社長		◎	◎	◎	◎	◎	データー管理できるもののデーターでの保管や、自治体の廃品回収を利用した再資源化の徹底を図った。今後とも同様の取組をする。
	・コピー機のリセットボタンの活用	○	○		→	◎	◎	◎	◎	◎	
	・文具類を詰替え用品にする	○		環境委員会		◎	◎	◎	◎	◎	
	・リサイクル出来る紙は地域廃品回収へ	○				◎	◎	◎	◎	◎	
	・協力会社への伝達を電子メールに	○	○			◎	◎	◎	◎	◎	
	（年間）									◎	
④産業廃棄物の削減・再資源化率の向上	・ダストを出さない工夫		○	社長	→	○	○	○	○	○	体育館改修工事により、既存床塩ビシート撤去により多量の産業廃棄物が（再資源化できない）出たが、マニフェストに依る管理は徹底できている。今後も再資源化とマニフェストの管理の徹底に努める。
	・マニフェストの徹底		○	環境委員会		◎	◎	◎	◎	◎	
	（年間）									○	
⑤水使用量の削減	・節水ラベルを貼りこまめに蛇口をしめる	○	○	社長	→	◎	◎	◎	◎	◎	節水ラベルや漏水検査を定期的に実施した。
	・年に一度漏水の検査	○	○	環境委員会		◎	◎	◎	◎	◎	
	（年間）									◎	
⑥事務用紙使用量の削減	・裏紙利用の励行	○		社長	→	◎	◎	◎	◎	◎	裏紙利用を徹底した。
	・プレビュー画面で確認してから印刷	○		環境委員会		◎	◎	◎	◎	◎	
	（年間）									◎	
⑦グリーン購入の推進	・エコ製品購入の推進（ネットでグリーン製品を確認して購入）	○		社長 環境委員会	→	◎	◎	◎	◎	◎	グリーン製品の事前確認をする事により達成できた。今後も確認を怠らないよう努める。
	（年間）									◎	
⑧地域貢献活動への参加	・道路清掃活動（ロードアドプトなど）（3回以上）	○		社長 環境委員会	→	◎	◎	◎	◎	◎	地域貢献活動は年8回充分活動出来た。
	（年間）									◎	
⑨環境に配慮した製品・サービスの提供と施工			○	社長 環境委員会	→	◎	◎	◎	◎	◎	省エネ対応商品を推奨した。
	（年間）									◎	
⑩化学物質取扱時の外注業者への指導徹底			○	社長 環境委員会	→	○	○	○	○	○	化学物質使用状況報告書による確認を徹底する。
	（年間）									○	

実施状況
- ◎　十分できている
- ○　ほぼできている
- △　まだ不十分である
- ×　できていない

□環境経営計画

＜事務所＞

(2026年度)

重点テーマ	具体的項目	責任者 担当者	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
①電力使用量の削減	・エアコンの設定温度(夏28℃冬20℃) ・照明の数を減らす、不要時の消灯 ・照明機器、ｸｰﾗｰ、窓の掃除	社長	―	→					―	→			―	→
	・クールビズ・ウォ―ムビスの制服着用 ・パソコンの電源はスリープにする ・コピー機を省エネ製品に入れ替え	環境委員会	―	―	→	―	―	→	―	―	→	―	―	→
②燃料の削減	・ｱｲﾄﾞﾘﾝｸｽﾄｯﾌﾟ ・自主点検の励行 ・暖房時はACスイッチを切る	社長 環境委員会	―	―	→	―	―	→	―	―	→	―	―	→
③一般廃棄物の削減	・裏紙利用の励行 ・コピー機のリセットボタンの活用 ・文具類を詰替え用品にする ・リサイクル出来る紙は地域廃品回収へ ・協力会社への伝達を電子メールに	社長 環境委員会	―	―	→	―	―	→	―	―	→	―	―	→
⑤水資源使用量の削減	・節水ラベルを貼りこまめに蛇口をしめる ・年に一度漏水の検査	社長 環境委員会	―	―	→	―	―	→	―	―	→	―	―	→
⑥事務用紙使用量の削減	・裏紙利用の励行 ・プレビュー画面で確認してから印刷	社長 環境委員会	―	―	→	―	―	→	―	―	→	―	―	→
⑦グリーン購入の推進	・エコ製品購入の推進 (ネットでグリーン製品を確認して購入)	社長 環境委員会	―	―	→	―	―	→	―	―	→	―	―	→
⑧地域貢献活動への参加	・道路清掃活動(ロードアドプトなど) (3回以上)	社長 環境委員会	―	―	→	―	―	→	―	―	→	―	―	→

□環境経営計画

＜現場・倉庫＞

(2026年度)

重点テーマ	具体的項目	責任者 担当者	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
①電力使用量の削減	・エアコンの設定温度(夏28℃冬20℃)	社長	―	→					―	→			―	→
	・倉庫照明器具をLEDに変えて行く	環境委員会	―	―	→	―	―	→	―	―	→	―	―	→
②燃料の削減	・ｱｲﾄﾞﾘﾝｸｽﾄｯﾌﾟ ・自主点検の励行 ・暖房時はACスイッチを切る ・現場への最短ルートの移動	社長 環境委員会	―	―	→	―	―	→	―	―	→	―	―	→
③一般廃棄物の削減	・裏紙利用の励行 ・コピー機のリセットボタンの活用 ・協力会社への伝達を電子メールに	社長 環境管理委員会	―	―	→	―	―	→	―	―	→	―	―	→
④産業廃棄物の削減・再資源化率の向上	・ダストを出さない工夫 ・マニフェストの徹底	社長 環境委員会	―	―	→	―	―	→	―	―	→	―	―	→
⑤水使用量の削減	・節水ラベルを貼りこまめに蛇口をしめる ・年に一度漏水の検査	社長 環境委員会	―	―	→	―	―	→	―	―	→	―	―	→
⑨環境に配慮した製品・サービスの提供と施工		社長 環境委員会	―	―	→	―	―	→	―	―	→	―	―	→
⑩化学物質取扱時の外注業者への指導徹底		社長 環境委員会	―	―	→	―	―	→	―	―	→	―	―	→

□環境関連法規等の順守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される事項（法的要求事項）	遵守結果
廃棄物処理法	建設廃棄物：産業廃棄物管理票（マニフェスト）の交付・保管 マニフェスト交付状況報告書の作成及び県知事への提出・委任契約書の締結	○
建設リサイクル法	建設廃棄物:分別解体等の実施及び再資源化の実施 再資源化等の完了報告及び再資源化等の実施状況に関する記載の作成・保存	○
騒音規制法	建設機械（バックホウ等）を使用する解体作業： 特定建設作業の実施の届出・着工７日前まで。作業敷地境界85db以下。 ＊バックホウ　定格出力80kw以上 ＊トラクターショベル　定格出力70kw以上 ＊ブルトーザー　定格出力40kw以上	○
振動規制法	建設機械（杭打機・ブレーカー等）を使用する作業： 特定建設作業の実施の届出・着工７日前まで。	○
徳島県生活環境保全条例	建設機械（バックホウ等）を使用する作業： 特定建設作業の実施の届け出・規制基準の順守 環境に配慮した建設機械の使用	○
浄化槽法	浄化槽の保守点検、清掃の実施、法定検査の実施	○
フロン排出抑制法	空調機器：管理者の判断基準の順守（定期点検の実施、点検・整備の記録など）	○
グリーン購入法、グリーン調達基準	環境に配慮した製品・サービス/入札、契約	○
阿南市環境基本条例	環境保全　環境負荷の低減　環境教育	○

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
なお、関係当局よりの違反等の指摘や訴訟は、過去３年間ありませんでした。

□代表者による全体の評価と見直し･指示

実施者：代表取締役　青木　晃
実施日：2026/2/10

2025年度も　EA21に取り組む姿勢は確実に浸透して、全社で目標達成方向に向かいました。昨年に続き公共工事現場における産業廃棄物削減が目標未達成となりましたがマニフェストに依る管理の徹底。材料の端材が出ないような施工の創意工夫に努めて行きます。今後も全社員で法令順守・安全作業・環境保全に取り組みます。なお、環境経営方針、環境経営目標・環境経営計画及び実施体制については変更ありません。

□環境活動の紹介

【アドプト事業に参加】
年3回県道285号線のゴミ拾い、雑草抜きをし清掃・美化に取組んでおります。

【地域貢献活動への参加】
年5回、道路清掃等に参加　環境美化に努めております。
地元地域の清掃活動及び廃品回収にも積極的に携わっております。
写真添付（抜粋）

R7 OURロードアドプト事業
R7.10.23
am8:15～am9:15
参加人数5名

着手前

着手前

2025.5.29 徳島県建設業協会阿南支部

地域貢献活動